



会長 及川昭宏
 幹事 太田陽平
 会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327



ガバナー月信



佐沼RCホームページ

第2833回例会 2022. 9. 29 No.8

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・及川昭宏会長 遠藤光則会員の楽しいスピーチ、楽しみにしております。
- ・遠藤光則会員 本日、ピンチヒッタースピーチです。宜しくお願いします。
- ・佐藤幸一会員 遠藤光則会員のスピーチ、大いにご期待いたします。
- ・飯塚仁哉会員 遠藤光則会員のスポーツ万能選手のお話、楽しみです。
- ・江川元徳会員 いつ頃終わりますかな？2年以上も武漢肺炎。
- ・八谷郁夫会員 遠藤光則会員、久しぶりのスピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 遠藤光則会員のスピーチを楽しみにしています。
- ・菅野幸一郎会員 遠藤光則会員のスピーチにご期待致します。ゴルフの話ですよ！
- ・高田次雄会員 朝夕めっきり涼しくなりました。あの夏の暑さも過ぎてみればちょっぴり恋しく感じます。コロナ、インフルご自愛下さい。本日のスピーチ遠藤光則会員勉強させて下さい。
- ・菅原文之会員 遠藤節のスピーチを楽しみに。久しぶりに来ました。祈、コロナ退散。
- ・佐々木源悦会員 尊敬する遠藤光則パスト会長の見本となるスピーチに期待しています。
- ・伊藤幸子会員 二週間ぶりの例会、9月もあつという間に終わります。本日のスピーチ遠藤光則会員にご期待します。何のお話が聞けるのか楽しみ！
- ・二階堂恭子会員 9月22日(木)はコロナ急拡大で休会に。今日は、しばらく振りに例会に出席。スピーチは元気の良い遠藤光則会員、お話し楽しみに！

- ・佐藤敬喜会員以下 本日のスピーチに期待して。
 猪股育夫会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員
 高橋利光会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 杉田広仁会員 佐藤早智子会員 大畑好司会員
 千葉正宏会員 村上正弘会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 及川昭宏会長

9月27日のクリーンアップ湖沼群に大勢の会員にご参加いただきまして改めてお礼申し上げます。

9月25日は仙台で米山記念奨学会の研修会に佐々木源悦委員長と参加してまいりました。会長エレクトの時からロータリーの様々な制度について気を付けて見ておりましたが、抜けはあるなという事を感じて帰ってまいりました。

前回の例会は終了後にコロナ発病者が出ましたので、急遽中止とさせていただきます。沈静化の方向にあるとはいえ、亡くなる方は減っていないように感じます。感染してからの後遺症もあり得ますので、皆様も感染にご留意をいただきたいと思っております。

さて、今年は日中国交正常化50年という事で、TV等で解説がよく見受けられます。正常化は文化大革命の混乱期に行われたと記憶しております。その後天安門事件(1989年)で民主化は排除され現在の中央集権型、ある意味強権型政治体系に変貌しているのが現状と思われまます。個人的な意見ですが、国は風土で国家は制度と思っております。

ロータリー活動において政治についての活動はタブーであると承知しておりますが、国家制度について論じるのは良いのではないのでしょうか？欧米型の奉仕団体のロータリークラブの活動が反欧米勢力に敵視される場合もあります。災害等も含め危機管理委員会が設置されています。怒涛の時代が到来していることは紛れもない事実であり、趨勢を見極め正しく理解することが肝要と認識しております。

ることが肝要と認識しております。

来週は、新入会員のバッチ授与を行います。みんなで新入会員を歓迎しましょう。

幹事報告 大畑好司副幹事

- ・ロータリー米山記念奨学会より
 10月・米山月間資料が届く
- ・栗駒RCより 活動計画書が届く
- ・ボーイスカウト日本連盟より
 ボーイスカウト運動への支援について、御礼と今後のお願ひ、及び機関誌「スカウティング」届く
- ・劇団ドリーム・キッズより
 ミュージカル公演協賛に対するお礼状が届く
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く

各委員会報告

- ・米山記念奨学会委員会 (佐々木源悦委員長)
 会長要件にもありましたように、9月25日(日)米山記念奨学会の研修会に参加してまいりました。
 11月に開催されます地区大会に、米山大使が来て講演されるそうです。来月は米山月間ですので、本日配布いたしました資料に目を通して米山奨学会に対する理解を深め、特別寄付にご協力をお願い致します。又、10月13日(木)には、印海兵米山留學生のスピーチを予定していますので、よろしくお願ひ致します。

今週のスピーチ

「2022 事業承継に思う」 遠藤光則会員

我が社は今月9月で、お蔭様で50周年を迎えることになりました。皆様には大変に長きに渡りご愛顧を賜り、大変有難く心から感謝申し上げます。コロナ禍でなかったら盛大に50周年記念パーティーでも開催したところですが、実施できず大変残念に思っております。今、わが社で一番大変なことは事業承継です。7年くらい前からいろいろな承継方法を考えておりました。私も高齢になり早く後継者を決めないと、いつどうなるか分かりませんので、大変な事になる前にしっかりと、どうするか決めなければならないと思っております。一番は身内に後継者がいれば良いのですがそれもなく、多くの小規模事業所は後継者がなく、やむなく廃業される事業所が全国に何千件もあるとお聞きします。

わが社も同様で、今いろいろなM&A関係に相談したり金融機関に相談したりしておりますが、吹けば飛ぶ様な会社です。どの様な方法が良いのか全く分かりません。取引メーカーと相談し外部委託を考えたり、あるいは社員と相談したり、引き受けてもらう方法とか選択肢はたくさんありますが、ある程度のお金もかかりますし中々大変なことです。

やり方は色々あるとの事で、私は資産のある会社を吸収合併するには、それなりにお金がかかりますし、初期投資もかかりますし、それなら新たに自分で起業した方が良い場合もあるのではと思っております。また、資産がありながら安く企業譲渡をする、例えば5千万円の資産を1千万円で譲渡した場合、差額の4千万円が「みなし譲渡」とみなされ、それに20%位の税金が譲渡者にかかる場合があるという事で、あまり安く譲渡できません。

今、考えているのは県内の同業の方々が後継者がおらず、同じ悩みを抱えておりましたら、そのような同業者同士で会社はそのまま、経営をグループ化してグループ会社の責任で経営する。人事も適材適所に振り分け、内容によっては増員したり減らしたりしながら運営をしていく。もし経営者が残っても良ければ顧問やただの会長職等で会社に籍を置くことも出来る。場合によっては経営をサポートすることもできるので一石二鳥であります。しかし、譲渡者は運営については出来れば責任は持たない方がいいかとも思います。

ひとつの会社が独立しながらも、運営は全てグループで行う事が大事だと思います。いずれにしても、これからの小規模事業所は、ほとんどが整理され激減していくものと思います。この様な同業者同士のグループ経営が無理ならば、地域の異業種の方々とマッチングして共同経営、あるいは地元でグループ化して、それぞれで会社を運営していく方法もあると思います。どの方法にも大事な条件があります。その企業に将来性があるかどうか。「資産と負債」のバランスがどうなっているかです。資産がゼロや赤字で負債のみがある企業は、少しくらいの将来性はあっても、すぐに会社を整理すべきで、早いうちに廃業するのが最大の得策だと思います。借金はあっても年商の20%位までが限度だと思います。商工振興策の特効薬は、公的機関、地域の方々とはほとんど物品の購入をはかり、入札、見積りだけではなく随契での発注を多くして商品を動かしていただく事です。

我が社をはじめ多くの小規模事業者は借金を返すために仕事を「やめるにやめられない」それが現状だと思います。傷が深くなる前に早目にやめることが得策だと思います。

多くの事業者が「廃業」でなく新しい感覚で「起業」できる、余裕をもって事業を引き継いでいただける、そんな政策的な世の中になってくれれば最高だと思います。

最近「サーチファンド」と称して日本政策公庫とか証券会社、金融機関が若者に資金を出し、事業承継をしたい人を育てる組織があるそうです。是非、皆さんにも我々みたいなものを助け、うまく事業が継続されますように心からご協力、ご支援をお願い申し上げます。そのためにも、このようなロータリーとか、いろいろな団体に入会され、多くの友人を得、多くの情報を得ることが大事だと思います。

私の好きな言葉は「人生の価値は、どれだけの財を得たかでない。どれだけ多くの友を得たかである。」(日曜日のゴルフ交遊録での話)です。

お陰様で、交際相手が見つかり、この度「婚約」を致しました。なかなか地元の企業との相手が見つからず、県内の大手の同業者と明後日10月1日「友引に結婚」することとなりました。

と言うことで代表は変わりますが「フレキシブルワーキングアワー(自己選択労働時間)」で今まで通り余命28年間ありますが、元気な限り仕事はします。ゴルフもします。ロータリーも継続させていただきます。社員体制も今まで通りですので、今後も皆様にご迷惑をお掛けしないように頑張ってお参ります。

私同様、新社長、新会社にもご支援を頂きますように、心からお願ひ申し上げます。